



ふれあい 放水路

1997

(平成9年)

第34号

1月



迎春

大社町 藤間家の正月飾り

平成九年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、古志橋、崎屋橋や工用道路などの工事を推進すべく、下流部の新内藤川水門の本体工事や開削部における本格的な掘削工事にも着手しており、事業も順調に進捗しております。地域の皆様方をはじめ関係者の方々のご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

本年は、昨年に引き続き、用地買収や埋蔵文化財調査、掘削・築堤、工用道路の建設、橋梁や水門等の構造物の改築工事、残土処理場の防調整池の整備などを推進するとともに、新たに半分大橋(仮称)、山崎上橋(仮称)の改築工事にも着手したいと考えております。

豊かな自然と美しい景観、そして、歴史や文化などにも配慮して事業を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、本事業に対するご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

建設省出雲工事事務所長

池内幸司

平成8年度の埋蔵文化財発掘調査結果(1)

平成8年度の埋蔵文化財発掘調査は、全体で約3.1haの調査を行い、12月でほぼ終了しました(一部1月末まで調査実施予定)。今後は今年度の調査箇所について記録として保存するための報告書のとりまとめの作業に入ります。

今回は今年度の調査結果の中から、古志本郷遺跡と上塩冶横穴墓群について紹介します。(半分城跡、三田谷I遺跡などについては次回以降紹介します。)

古志本郷遺跡

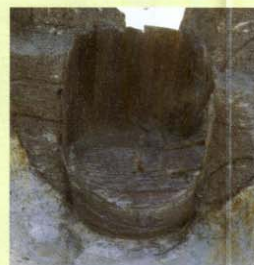
弥生時代から江戸時代までのいろいろな時代の遺構(建物跡など)や遺物(土器・金属製品など)がたくさんみついています。

掘立柱建物跡(時期不明)



掘立柱建物は地面に穴を掘って柱を立て、柱の上に屋根をかけた建物です。

中世の井戸や江戸時代の桶なども見つかりました。



江戸時代の桶

17支群では...

山の斜面から古墳時代の横穴墓が13穴確認され、須恵器・金環などが発見されました。

また、谷底からは古墳時代後期以降の柱穴と考えられる掘り込みが多数発見されました。



金環

上塩冶横穴墓群

7・12・17・28・33支群の調査を行いました。



33支群では...

山の南西部には横穴式石室を持った古墳、その近くには小型の箱式石棺、東側斜面には5つの横穴墓(そのうち2つから石棺を発見)が確認されました。いずれも古墳時代後期(約1400年前)のお墓で、他の支群と違っていろいろな種類のお墓が見つかります。



この山の中では一番古い墓です。

古墳時代の有力者の墓と思われる、須恵器や鉄鏡(矢じり)が出土しています。古墳から横穴式石室が発掘されることはとても珍しいことです。

この横穴墓には奥に家型石棺が置いてありました。その近くからは、耳環(イヤリング)や鉄製品がまとめて出土しました。

この横穴墓には、突起のある家型石棺が左奥に置いてありました。その近くからは大刀や須恵器が出土しています。

28支群では...

横穴墓の上方で小さな規格の石切場の跡が見つかりました。

弥生時代末から古墳時代の初めごろ(3、4世紀)の土器が埋められた環濠が見つかりました。



環濠

環濠とは外敵の進入を防ぐために集落の周りに掘った溝のことです。溝の本来の目的がなくなって埋められたものと考えられます。



平成8年 出雲工事事務所10大ニュース



平田地区 多自然型湖岸堤の完成



穴道湖グリーンパークと湖岸堤

島根版 第9次治水事業五箇年 計画(要求版)の作成

平成9年度を初年度とする第9次治水事業五箇年計画の島根版を、中国地方建設局と島根県が共同でとりまとめました。

松江堀川浄化用水の導水事業完成

穴道湖から松江堀川への十分な量の浄化用水の確保と通年導水ができるようになりました。



導水前



導水後

新内藤川水門本体工事に着工



新内藤川水門完成模型

放水路開削部 本格工事に着手

開削部では超大型機械が活躍中。工事の様子をこれからもどんどん紹介していきます。

穴道湖で コノシロ大量死

穴道湖を中心にコノシロの大量死が確認され、約16万匹(約17t)を回収しました。

河川愛護に関する作文が 局長賞に

平田市立鱈淵小学校猪目分校3年山本直樹君の作文「いの目川とカジカガエル」が中国地方建設局長賞を受賞しました。



**建設省中国地方建設局
出雲工事事務所**

〒693 出雲市塩冶原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当

山崎山ホタル川完成



残土処理場予定地を流れる大井谷川や大源氏川に棲息するホタルを保護するため、出雲市上塩冶町の山崎山周辺に延長約165mのホタル水路を整備しました。

危機管理体制(施設)の充実

堤防の耐震点検などを実施し、耐震対策に着手する一方、非常用発電機の地下燃料タンクの増設、緊急指定車両の登録の推進、防災用品の備蓄の充実など、防災施設の整備を行いました。

新しい水面清掃船の建造に着手

15年活躍した水面清掃船「こせい丸」に替わる新しい水面清掃船の建造に着手しました。